

水無月 20 詠

合歡の花

たなか踏基



忍びてか
おとがし触るる
合歡の花

花合歡や
すくみて仰ぐ
片思い

身を任す
あふるる合歡の
紅の糸

うすずきし
醒めざる合歡の
薄毛かな

着飾って
虫花合歡に
つどいけり

花合歡に
戯れてみる
めての指

廃寺に
花合歡と揺る
鐘の音

花合歡の
秘めし焰を
愛しむ



合歡咲くや
揺れて身を退く
熱き思慕

高気圧
にぎはひ合歡の
花睦む

潤むままに
花合歡雨の
吐息かな

手折らざる
触れざるねぶの
恪気かな

異次元に
絡まる糸や
ねぶの花

薄紅や
ねぶ空洞に
湧く仕掛け



まなじりに
性隠しおる
ねぶの黙



まほらまに
紅ほのめかす
合歡の花

合歡咲くや
背信今も
許さざる

花合歡や
異人の街に
ピアノの音

ほろびゆく
荒れ寺ねぶの
花まつり

衣ずれば
西施奏でる
合歡の唄